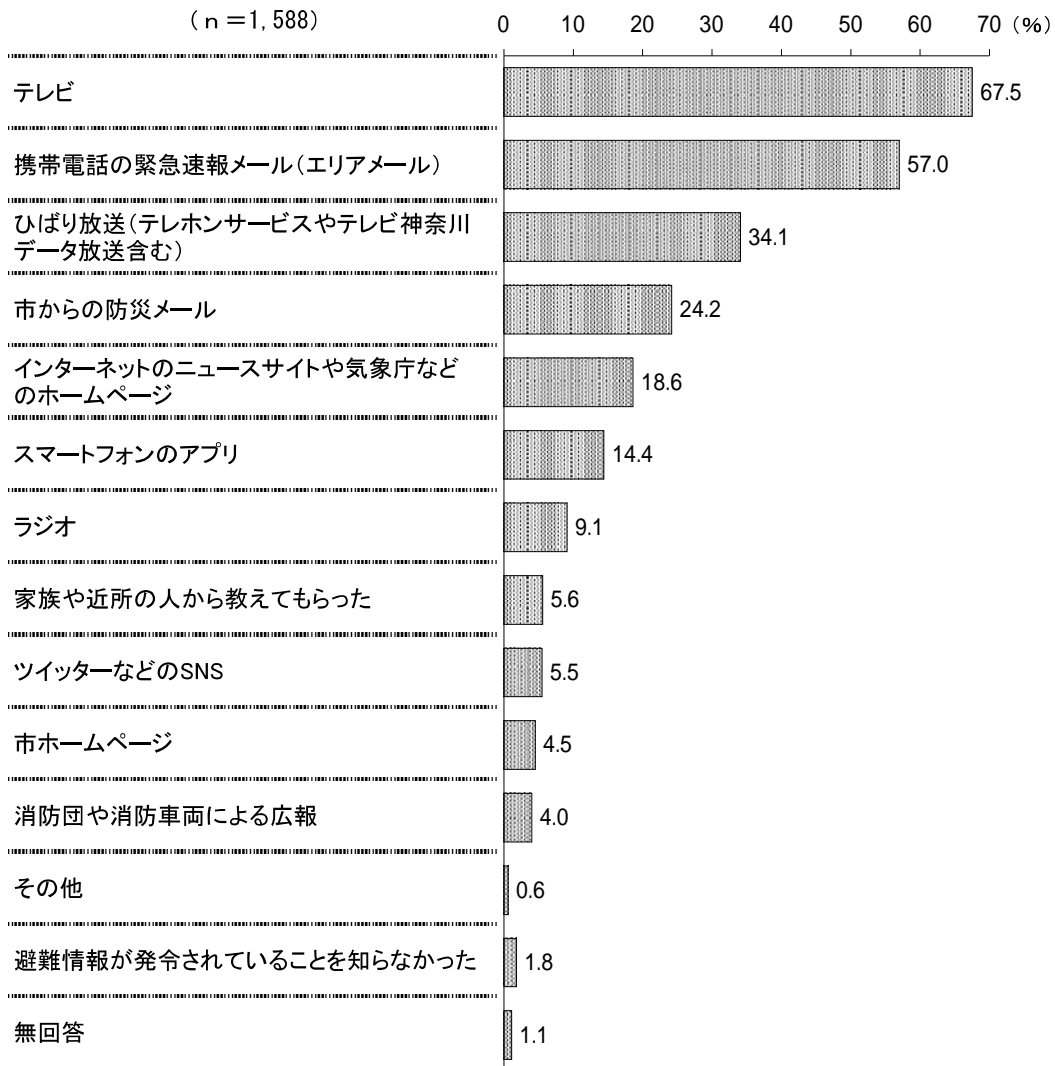


5 防災情報の発信について

(1) 令和元年東日本台風（台風第19号）で発令された避難情報の認知方法

問11 あなたは、令和元年東日本台風（台風第19号）で発令された避難情報（避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示）をどのような方法で知りましたか。

（○はいくつでも）



令和元年東日本台風（台風第19号）で発令された避難情報をどのような方法で知ったかたずねたところ、「テレビ」（67.5%）が7割近くで最も高く、次いで、「携帯電話の緊急速報メール（エリアメール）」（57.0%）、「ひばり放送（テレホンサービスやテレビ神奈川データ放送含む）」（34.1%）、「市からの防災メール」（24.2%）、「インターネットのニュースサイトや気象庁などのホームページ」（18.6%）と続いている。

<性別・性／年齢別・区別結果> (上位10項目)

性別で見ると、「インターネットのニュースサイトや気象庁などのホームページ」は男性が女性より8.7ポイント高くなっている。一方、「市からの防災メール」で7.7ポイント、「携帯電話の緊急速報メール（エリアメール）」で6.4ポイント、それぞれ女性が男性より高くなっている。

性／年齢別で見ると、「テレビ」は男女ともに70歳以上で8割台と高くなっている。「携帯電話の緊急速報メール（エリアメール）」は女性60～69歳と男性30～39歳で7割台と高くなっている。

区別で見ると、「テレビ」は中央区で7割と高くなっている。「ひばり放送（テレホンサービスやテレビ神奈川データ放送含む）」は緑区で4割近くと高くなっている。

